

待機児童数の推移 と 平成 29 年度の傾向について

1、待機児童数の推移と利用児童数等について（各年度 4 月時点）

年度	平成 27 年度				平成 28 年度				平成 29 年度						
	2 号		3 号		合計	2 号		3 号		合計	2 号		3 号		合計
	3～5 歳	0 歳	1・2 歳	3～5 歳		0 歳	1・2 歳	3～5 歳	0 歳		1・2 歳				
待機児童数	2 人	5 人	51 人	58 人	0 人	2 人	30 人	32 人	4 人	5 人	30 人	39 人 (26 人)			
定員数	980 人	140 人	656 人	1,776 人	981 人	149 人	695 人	1,825 人	1,038 人	166 人	740 人	1,944 人			
利用児童数	1,112 人	116 人	671 人	1,899 人	1,148 人	135 人	711 人	1,994 人	1,175 人	151 人	764 人	2,090 人			

待機児童数は、国の示す基準による数値。平成 29 年度カッコ内は、平成 28 年度の算出方法による数値

2、待機児童数の算出方法について

平成 29 年 3 月 31 日付 厚生労働省通知 保育所等利用待機児童数調査について 別紙「保育所等利用待機児童数調査要領」(要旨)

平成 28 年度まで	平成 29 年度から
<p>保育の必要性が認定され、特定教育・保育施設又は特定地域型保育事業（保育所等）の利用の申込みがされているが、利用していない者の内、以下の事項に該当する者は待機児童数には含めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職活動を行っておらず、保育の必要性が認められない状況であると確認ができる者 ・保育所等以外の施設（地域保育園等）を利用 ・利用可能な保育所等（開所時間、立地）を利用せず、特定の保育所等を希望 ・育児休業中 	<p>保育の必要性が認定され、特定教育・保育施設又は特定地域型保育事業（保育所等）の利用の申込みがされているが、利用していない者の内、以下の事項に該当する者は待機児童数には含めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職活動を行っておらず、保育の必要性が認められない状況であると確認ができる者 ・保育所等以外の施設（地域保育園等）を利用 ・利用可能な保育所等（開所時間、立地）を利用せず、特定の保育所等を希望 ・育児休業中で、<u>保育所等に入所できたときに復職する意向がない者</u>

保育所等を利用していない者の内、育児休業中の保護者で保育所等へ入所ができれば復職する意向について確認ができたものは、待機児童数に含める。

2、平成27年4月以降の2・3号認定の利用定員増

区 域	区 分	施 設	時 期	増加定員	
				0~2歳(3号)	3~5歳(2号)
東谷中学校区	定員増	認可保育所 山子屋保育園	平成27年8月	4人	2人
川西南中学校区	定員増 移行	幼保連携型認定こども園 あおい宙川西 【保育所から認定こども園へ移行】	平成28年2月	6人	-1人
清和台中学校区	新設	小規模保育事業A型 清和台おうち保育園	平成28年4月	19人	-
東谷中学校区	新設	小規模保育事業A型 はっぴいばーす	平成28年4月	19人	-
東谷中学校区	定員増	保育所型認定こども園 山下教会めぐみ園	平成28年12月	7人	3人
緑台中学校区	新設	幼保連携型認定こども園 向陽台あすのこども園	平成29年4月	36人	54人
川西南中学校区	移行	小規模保育事業A型 栄根おうち保育園 【認可外から小規模保育事業への移行】	平成29年4月	19人	-
東谷中学校区	定員増	認可保育所 畦野こどもの里保育園	平成30年4月予定	(8人)	(12人)
	新設	小規模保育事業	平成30年4月予定	(19人)	-
合 計				110人 (+27人)	58人 (+12人)

3、提供区域別（中学校区別）2・3号認定利用希望者数と利用定員数（平成29年4月時点・参考値）

【 2号認定 】

（単位：人）

提供区域	入園児童数	待機児童数	利用希望者数	平成29年 量の見込み	利用定員数	希望者数と 定員数の差
			(+)			-
川西南中学校区	187	3	190	118	145	-45
川西中学校区	267	1	268	237	337	69
明峰中学校区	84	0	84	60	61	-23
多田中学校区	177	0	177	201	132	-45
緑台中学校区	54	0	54	70	54	0
清和台中学校区	136	0	136	96	122	-14
東谷中学校区	265	0	265	172	187	-78
合計	1,170	4	1,174	954	1,038	-136

【 3号認定 】

（単位：人）

提供区域	入園児童数	待機児童数	利用希望者数	平成29年 量の見込み	利用定員数	希望者数と 利用定員数の差
			(+)			-
川西南中学校区	132	10	142	119	109	-33
川西中学校区	225	20	245	227	293	48
明峰中学校区	81	4	85	94	59	-26
多田中学校区	141	1	142	129	88	-54
緑台中学校区	43	0	43	52	36	-7
清和台中学校区	114	0	114	117	127	13
東谷中学校区	168	0	168	188	194	26
合計	904	35	939	926	906	-33

- ・入園児童数は、施設・職員配置基準を満たしたうえで利用定員数より多く児童を受け入れる運用を行っているため、利用定員数を超えることがあります。
- ・入園児童数は、教育・保育施設入園所管理システムのデータをもとに作成しており、年度当初の転出入・転居による誤差があります。
- ・入園児童数の提供区域別の分類は、町名ごとに行っているため、実際の中学校区とは若干の誤差があります。